

5 今年度の重点課題

平成30年度 砺波高校アクションプラン - 1 -	
重点項目	ア 学習活動 教科指導
重点課題	授業を中心とした学力の養成と自己学習の充実
現 状	<p>○1、2年生は学習に対して受け身の生徒が多い。週末課題に取り組む姿勢も同様に自主的学習になっていない。意欲的に授業に参加し、深く考える学習習慣を身につけさせることが必要である。</p> <p>○授業力向上のため、互見授業を行い、日々の授業改善に取り組むとともに、授業方法の研修会等に積極的に参加し、新しい指導法を吸収し授業に反映させている。</p>
達成目標	<p>①自己学習時間の確保</p> <p>a) 1、2年生の平日学習時間が2時間以上の生徒の割合</p> <p>b) 1、2年生の休日学習時間が4時間以上の生徒の割合</p>
	<p>②教師の授業力向上</p> <p>a) 互見授業に参加した回数 1人3回以上</p> <p>b) 授業において学び合い又はICTを活用している。</p>
	<p>80%以上</p> <p>a) 達成率70%以上</p> <p>b) 達成率90%以上</p>
方 策	<p>○予習を重視することにより、主体的に深く考えて学習する習慣を定着させる。</p> <p>○学習実態調査、面接を継続し、生徒の生活実態や学習意識の変化を把握する。</p> <p>○課題の設定を工夫（質・量、教科のバランス）する。</p> <p>○教科部会、互見授業、授業研修会などを通じて指導力を高めるよう努力する。</p>

平成30年度 砺波高校アクションプラン - 2 -	
重点項目	イ 学校生活 生活指導（心身の健康指導を含む）
重点課題	学校生活における基本的な生活習慣の涵養と健康増進
現 状	<p>○規律ある生活として「服装、頭髪の整備」「時間厳守」「挨拶の励行」「公共でのマナー遵守」を挙げているが、「社会的なルール・マナーの実践度」（ルール・マナーを守ると回答した生徒）は62%（H29）である。</p> <p>○家庭における携帯電話（スマホ）の使用時間2時間以上の生徒が増加し、学校生活及び健康への悪影響が懸念される。</p> <p>○健康診断結果として治療カードを渡しても、多忙のため、予約がしにくいため、あるいは、視力低下や歯石・歯垢の付着などを軽く考えるなどの理由で、医療機関へ行かない生徒が多い。</p>
達成目標	①社会的なルール・マナーの実践度
	②健康診断の結果、治療の必要がない生徒及び医療機関を受診して完治した（治療カードを提出した）生徒の割合
	<p>75%以上</p> <p>80%以上</p>
方 策	<p>○「社会的なルール・マナー」についてのアンケートを実施し理解度を高める。また、実践する生徒を増やす方策として生徒主体のルールづくりも検討する。</p> <p>○携帯電話（スマホ）の使用について生徒主体（校風委員）でルールづくりをさせる。</p> <p>○保健だよりや掲示などによる啓蒙活動の推進や、個別の保健指導の充実により、自己の心身の健康に関する知識や理解度を高める。</p> <p>○生徒保健委員会を中心に健康保持を呼びかけ、生徒が自主的に基本的な生活習慣の確立や健康増進に努めるよう意識の向上を図る。</p>

重点項目	ウ 進路支援 進路指導	
重点課題	進路目標の実現に向けて、進路意識の高揚と目標設定の早期化	
現 状	<p>○進路意識が希薄で、自分の能力や適性を把握できないため、目標設定が遅れる生徒がいる。</p> <p>○進路目標はあるが、意識の深まりや学習意欲につながらず、学力が不十分な生徒がいる。</p>	
達成目標	① 1人あたりの面接指導の実施回数	② 3年1学期までに、進学目標を明確にした生徒の割合
	1、2年生： 6回以上 3年生： 10回以上	80%以上
方 策	<p>○生徒が進路意識を深め、自己を見つめる面接の指導を工夫する。</p> <p>○総合的な学習の時間などを利用して進路研究を行い、進路意識を高める。</p> <p>○社会人や大学生による講話を充実させる。またオープンキャンパスへの参加を積極的に勧めることなどにより進路目標の早期設定につなげる。</p>	

重点項目	エ 特別活動 特別活動・読書指導	
重点課題	特別活動の充実	
現 状	<p>○学校行事や部活動に積極的に取り組む生徒が多く、砺波高校生としての自覚や連帯感が高いが、リーダーシップを発揮することに消極的な面がある。</p> <p>○学校行事の準備期間や部活動時間が思うように確保できない面がある。</p> <p>○図書館の書籍の生徒による年間貸出数は1,400冊前後で停滞している。</p>	
達成目標	① 生徒会行事に対する満足度	② 図書館書籍の生徒による年間貸出数 ※図書館に設置してあるパソコンのデータを用いる。
	全学年、満足度85%以上	年間1,500冊以上
方 策	<p>○学校行事における事前事後アンケートにより、生徒の柔軟な発想を引き出すとともに課題を明確にし、意欲的に取り組める生徒会活動へ発展させる。</p> <p>○時間を有効に活用するため、自主的、計画的に部活動等を進める態度を養成する。</p> <p>○HR読書会（ビブリオバトル）で読書の楽しさを共有させたり一隅図書館で身近に本のある環境を作ったりすることによって、読書への意欲がさらに高まるようにする。</p> <p>○図書館オリエンテーションや学年活動、授業、HRなどを通して図書館を利用する機会を増やし、図書館を身近に感じられるようにする。</p> <p>○図書委員が各クラスの読書の推進役となるような活動を工夫し、活性化を図る。</p>	

重点項目	オ その他 保護者、地域、同窓会との連携	
重点課題	保護者や地域、同窓会との連携・協力の推進および広報活動の充実	
現 状	<p>○保護者の学校行事やP T A行事への参加率は他校に比べ高い。</p> <p>○地域の方々と行事を通して交流しているが、本校の教育活動が十分に理解されていない面がある。</p> <p>○オープンハイスクールを通じて、在校生から中学生に本校の魅力を伝えているが、十分に伝わっていない面がある。</p>	
達成目標	①保護者が学校行事、P T A行事に参加する割合（保護者会を除く） ※保護者全員が関係する学校行事、P T A活動が対象	②保護者が安全メールに登録した割合 （砺高通信への登録割合）
	80%以上	98%以上
方 策	<p>○P T A行事や学校行事は、できるだけ保護者が参加しやすい時間帯に設定する。</p> <p>○各行事は複数の手段（案内、メール、ホームページ等）で早めに知らせる。</p> <p>○オープンハイスクール以外に、在校生と中学生が交流できる機会を設ける。</p>	